



女性技術者の紹介

充実した日々

株式会社日水コン／東北水道部／技術課 桑田麻衣



1. はじめに

大学卒業後の7年間、建設コンサルタント会社で上下水道設計全般の業務に従事した後、2021年4月に(株)日水コンに入社しました。現在は東北水道部に所属し、上水道の設計業務を担当しています。

この「水坤」には、2018年新春号にも「若手技術者の紹介」で寄稿させていただきました。あれから4年が経ちましたが、当時書いた“目の前の作業をこなすことに精一杯の日々”は、実は社会人歴9年目に突入した今でもあまり変わりありません。転職して、従事する業務の規模や内容が変わったこともあり、すべてが勉強、勉強の毎日です。

今回は「女性技術者の紹介」で寄稿させていただくことになりました。女性としても技術者としても、何か特別に成し遂げたこともない私が何を紹介したらよいか悩みましたが、転職してから一年あまり、忙しくも充実した日々を送っていますので、その内容について紹介しようと思います。

2. 業務について

(1) 浄水場施設撤去設計

昨年度は、廃止された浄水場施設の撤去設計業務に、主担当として従事しました。当該施設は有害物質の使用履歴があったことから、撤去設計にあわせて、土壤汚染対策法（以下、土対法とする）の対応が必要となりました。土対法の対応は初めてでしたが、上司や協力会社の方々にご指導いただきながら、撤去設計業務の中で地歴調査、土壤調査、汚染土の除却設計を行いました。

今後、水道施設の更新や撤去に伴い、土対法の対応が必要となる業務が増えることが想定されます。事前調査が必要となった場合には費用や期間を要するので、土対法の制度の理解や、発注者への事前提案が重要になると考えます。

(2) 配水池の新設設計

前職では管路設計を中心に業務に従事していましたが、転職後は構造物設計に携わるようになりました。こ

の一年間では、配水池の基本設計と詳細設計にそれぞれ従事しました。構造物の設計は、施設本体だけでなく仮設構造物の検討や周辺地盤への影響など、配慮する項目がたくさんあるため多角的な視点からの検討が求められます。社内で設計方針について何度も打合せをしたり、発注者への提案資料の作成に勤しむなど、業務に従事している間は大変でしたが、今となってはそれも良い思い出になっています。

最近では、構造物設計では避けて通れない、耐震計算について勉強中です。もうすぐ中堅世代に差し掛かる立場でありながら、分からないことだらけなので、本を読んだり勉強したり、上司に教えていただきながら日々を過ごしています。

3. 日水コンの取り組み

日水コンは日々、様々な活動に注力しており、社内の広報ページはいつも賑わっています。私が入社してからまだ一年あまりですが、これまで私が参加した活動について、簡単に紹介します。

(1) 水道事業部女性技術者交流会「みずこまち」

水道事業部の女性技術者が集まり、技術の共有はもちろん、女性が活躍しながら長く健康に働くための情報共有を図る「みずこまち」が発足しました。今年の交流会



写真-1 みずこまち集合写真

は大阪支所で開催され、テレビ会議等も利用しながら全社の女性技術者と交流を深めました。

年齢層も幅広いので、それぞれの立場によって悩みも様々でした。女性は特に、ライフイベントに応じた働き方について悩むことが多いと思います。交流会では、育休から復帰された方の当時の一日のスケジュールや働き方の工夫について紹介していただいたり、会社の制度について皆で話し合ったりしました。日水コンは若い女性社員も多いので、多様な働き方について考える良い機会になったと思います。

交流会の時間は本当に楽しく、時間があっという間に過ぎてしまいました。次の機会も、とても楽しみにしています。

(2) 日水コン農園のお手伝い

日水コンの下水道事業部では、下水道資源の農業利用に関する共同調査協定を、鶴岡市や山形大学、JA鶴岡等の地域の方々と共に6者にて締結し、下水道と農業の連携に向けた調査・研究を実施しています。実際に、下水道資源由来コンポストを活用した作物を栽培する体験の場として、鶴岡市浄化センター内の一部用地を鶴岡市より貸与いただき、農業体験を行っています。この取り組みに、昨年は私の所属する水道部の職員も参加させていただき、鶴岡市の特産品「だだちゃ豆」を栽培、収穫しました。

雑草取りや土寄せ等の作業、収穫の日には機械での選別や袋詰めまでの作業を体験しました。慣れない作業ばかりでしたが、地元農家や鶴岡市職員の方々のご指導の下、無事に終えることができ、とても良い経験になりました。収穫しただだちゃ豆は、職員みんなで美味しくいただきました。

日水コン農園は、今年も引き続き活動しています。私もまた、ぜひ参加したいです。



写真-2 収穫後の作業風景

4. ワークライフバランスについて

(1) 平日の働き方

20代の頃は、働き方や自分の身体についてよく分かっておらず、無理をしてはよく風邪を引き体調を崩していました。自身の働き方について振り返り、反省してからは、時間の使い方や仕事の段取りを意識して、メリハリをつけて働くようになりました。できるだけ長く、楽しく仕事を続けるためにも、自分の身体と上手に付き合う方法を見つける必要があると感じました。

(2) 休日の過ごし方

ここ数年は博物館や企画展へ行くことが趣味になり、休日にときどき出掛けています。これまでは特に興味のなかった分野でも、現物を目の前にして解説を聞くと、その歴史や文化についてどんどん興味が沸いてきて、もっと知りたい、勉強したいと思うようになりました。また、企画展はオリジナルグッズも豊富で、それも魅力の一つだと感じています。



写真-3 ポンペイ展のグッズ(豆皿)

5. おわりに 女性技術者の皆様へ

これまでのことを振り返ると、働き方や体調のことで悩んだり、仕事を続けられないかもしれないと弱気になったりと、決して楽しいことばかりではなかったと感じます。ですが、その度に周囲の方に支えていただいたからこそ、今もこうして仕事を続けていられるのだと思います。お世話になった方々には本当に感謝しています。

女性は、ライフイベントに伴い、自身の環境や働き方について悩む機会が多いと思います。後悔のない選択をすることは本当に難しいですが、一番大切なのは自分の人生や身体です。いつも、自分がどうしたいのか？ という気持ちを大事にして、できるだけ楽しく過ごせる道を選んでほしいと思います。その中で、もしこの業界で仕事を続けたい気持ちが少しでもあったら、ぜひ一緒に頑張りましょう。女性技術者の一人として、陰ながら応援しています。